

2018年度第5回先端研セミナー

カナダのアイデンティティを表象する 首都オタワのカナダ・デー

【日時】：2019年2月15日（金）16：00～18：00

【場所】：セミナールーム2

（関西学院大学上ヶ原キャンパス社会学部棟3F）

【報告者】：大石 太郎 氏

（関西学院大学国際学部教授）

【概要】

1867年7月1日、連合カナダ、ノヴァスコシア、ニューブランズウィックという3つのイギリス領植民地が連邦制の自治植民地を形成し、近代国家としてのカナダの歩みが始まった。以来、7月1日はカナダ・デー（1982年まではドミニオン・デー）として、実質的な建国記念日として祝われてきた。7月1日は全国各地でさまざまなイベントが開催され、とくに首都オタワの連邦議会議事堂前広場のヌーン・ショーは、総督や首相などの要人が出席するとともに、カナダ各地から招かれたアーティストがパフォーマンスを披露する一大イベントであり、カナダの公共放送（CBC/SRC）によって生中継される。本報告では、連邦結成100周年を迎えた1967年以降の主要紙の記事と2005年以降の現地観察にもとづいて、首都オタワのカナダ・デーの特徴を検討し、そこに表象されるカナダのアイデンティティを考察する。



先端社会研究所